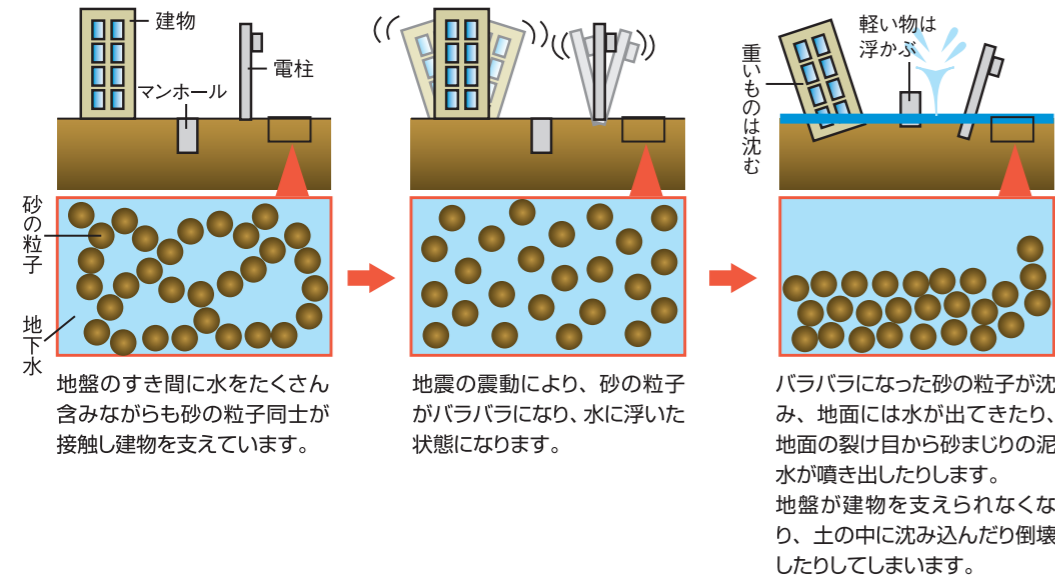


# 液状化

地下水位が高く、緩い砂質で構成される地盤では、地震後に液状化という現象が起きることがあります。液状化が発生すると、マンホールや貯水槽が押し上げられ、繋ぎ目が破損したり、地盤沈下により建物が傾いたりすることがあります。



▲ 押し上げられたマンホール

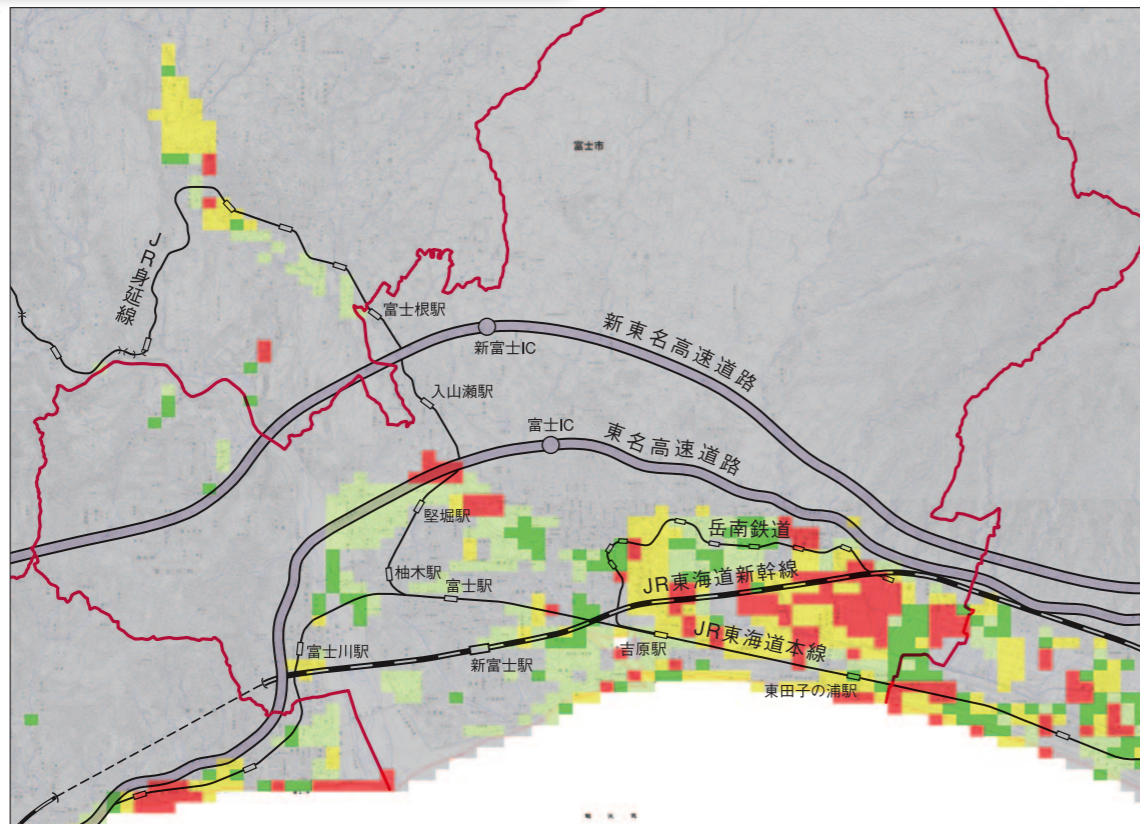


▲ 地盤沈下により傾いた交番

## 液状化可能性マップ(静岡県第4次地震被害想定より)

液状化可能性ランク

- 大
- 中
- 小
- なし
- 対象外



【参考】静岡県統合基盤地理情報システム(ご覧になりたい場所を拡大して見ることができます) URL <http://www.gis.pref.shizuoka.jp/>

## 液状化対策

液状化の可能性のある地域では、建物を支える地盤に対策工事を行う必要がある場合もあります。また、上下水道設備に被害が及ぶことも想定されますので、飲料水や簡易トイレの備蓄も必要になります。

# 大雨による災害

大雨による浸水や土砂災害は、突然おこる地震と違い、気象情報や河川の水位等から事前に避難することが可能です。これらの情報を有効に活用し、大雨による災害から命を守りましょう。

### ◎大雨・洪水注意報/警報・記録的短時間大雨情報

富士市で大雨・洪水注意報および警報が発表される基準は、下表のとおりです。また、大雨警報が出ている時に、短時間に猛烈な大雨を観測した場合は、「記録的短時間大雨情報」が発表されます。

(富士市)		発表基準(大雨・洪水注意報/警報等)		
		注意報	警報	記録的短時間大雨情報
1時間雨量	平坦地	30mm以上	50mm以上	110mm以上
	平坦地以外	60mm以上	100mm以上	
土壌雨量指数		76以上	118以上	—

※土壌雨量指数とは、降った雨が土壌中に水分量としてどれだけ貯まっているかを、これまでに降った雨と今後数時間に降ると予測される雨のデータから指数化したものです。

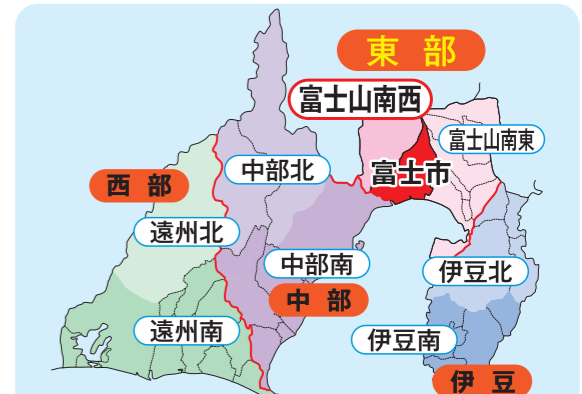
### ◎大雨特別警報

台風や集中豪雨により、数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、重大な災害の危険性が著しく高まっている場合、静岡地方気象台から「大雨特別警報」が発表されます。

これまでにない危険が迫っていますので、ただちに命を守る行動をとってください。河川の浸水区域や土砂災害の危険区域にお住まいの方は、避難勧告に従って避難するか、外出が危険な場合は、自宅の少しでも安全な場所に移動しましょう。(P9参照)

### ◎土砂災害警戒情報(市町単位で発表)

大雨警報発表中にさらに大雨が降り、かけ崩れと土石流が発生する可能性が高まったとき、警戒が必要な市町を特定し、静岡県と静岡地方気象台が共同で発表します。土砂災害の恐れがある場所にお住まいの方は、身の危険を感じたら、避難勧告が発令されていなくても、安全な場所に避難してください。(P9参照)



静岡県では、気象予報は一次細分(4区域)、警報・注意報は二次細分(8区域)ごとに発表されます。富士市は一次細分(東部)、二次細分(富士山南西)に含まれます。

大雨特別警報の発表基準(富士市)

3時間雨量	182mm以上
48時間雨量	503mm以上
土壌雨量指数	280以上

※上記基準を超えるが県程度の範囲で出現し、更に雨が降り続けると予想される場合に発表されます。

### 【雨の降り方と注意報・警報の関係(目安)】

発表目安	記録的短時間大雨情報				
	土砂災害警戒情報				
	大雨注意報	大雨警報	大雨特別警報		
(1時間雨量)	やや強い雨 (10~20mm)	強い雨 (20~30mm)	激しい雨 (30~50mm)	非常に激しい雨 (50~80mm)	猛烈な雨 (80mm以上)
予報用語					
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る(ゴゴゴと降り続く)	息苦しくなるような圧迫感がある恐怖を感じる
人への影響	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	傘をさしてもぬれる		傘は全く役に立たなくなる	
屋内木造住宅を想定	雨の音で話し声がよく聞き取れない	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく			
屋外の様子	地面一面に水たまりができる		道路が川になる	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	
車に乗っていて	ワイパーを早くしなければ見づらい	ワイパーを早くしても見づらい	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる(ハイドロプレーニング現象)	車の運転は危険	